

市町村名	渡名喜村									
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	1-①		環境保全・美化推進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	民生課・経済課				事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所		観光リゾート産業の振興
事業内容	島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物(ギンネム等)の駆除及び在来植物の保全育成を図る。									
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()									
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度			
	予算の状況	(a)当初予算額	39,727		25,583	38,192	51,840			
		(b)予算現額	33,068		26,077	27,584	47,745			
		(c)増減額(b-a)	▲ 6,659		494	▲ 10,608	▲ 4,095			
		(d)繰越額	—	21,988	—	—	—			
		A. 計(b+d)	33,068	21,988	26,077	27,584	47,745			
	B. 執行済額		11,080	21,988	26,077	27,584	43,052			
	うち交付金充当額		8,864	17,590	20,861	22,067	34,441			
	次年度繰越額		21,988	0	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		33.5%	100.0%	100.0%	100.0%	90.2%			
予算の状況の説明		除草作業については、地域住民や観光客から喜ばれてきた。しかしながら夏場の4月から10月にかけての繁茂時期においては、除草作業が行き届かず地域住民等から苦情があった。これを踏まえ、作業日数を増やし予算を増としたところであったが、結果的に悪天候による作業休止等で4,693千円の不用が生じた。								
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)			達成状況						
				24年度	25年度	26年度	27年度			
	緑化及び美化活動	目標	(14箇所実施)	(14箇所実施)	(14箇所実施)	(14箇所実施)				
		実績	14箇所完了	14箇所完了	14箇所完了	14箇所完了				
	外来植物駆除	目標	(8箇所実施)	(8箇所実施)	(8箇所実施)	(8箇所実施)				
		実績	8箇所完了	8箇所完了	8箇所完了	8箇所完了				
	在来植物保全育成実施	目標	(14箇所実施)	(14箇所実施)	(14箇所実施)	(14箇所実施)				
		実績	14箇所完了	14箇所完了	14箇所完了	14箇所完了				
	集落内美化清掃	目標	(14箇所実施)	(14箇所実施)	(14箇所実施)	(14箇所実施)				
		実績	14箇所完了	14箇所完了	14箇所完了	14箇所完了				
達成状況説明	賃金職員(経済課)25名、(民生課)6名を雇用し、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物(ギンネム等)駆除及び在来植物の保全育成を図った。また、備品等は、全て購入しほぼ目標は達成できた。しかしながら、降雨が多く作業中止が多かった。また、3月の作業が半月で終了したため計画通り行かなかったが、概ね目標は達成できた。									
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)			基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)		
	緑化及び美化活動実施箇所	目標	()	(14箇所)	(14箇所)	(14箇所)	()			
		実績		14箇所	14箇所	14箇所				
	外来植物駆除実施箇所	目標	()	(8箇所)	(8箇所)	(8箇所)	()			
		実績		8箇所	8箇所	8箇所				
	在来植物保全育成実施箇所	目標	()	(14箇所)	(14箇所)	(14箇所)	()			
		実績		14箇所	14箇所	14箇所				
	集落内美化清掃	目標	()	(14箇所)	(14箇所)	(14箇所)	()			
		実績		14箇所	14箇所	14箇所				
	進捗状況説明	緑化及び美化活動が14箇所、外来植物駆除の実施が8箇所、在来植物保全育成の実施が14箇所、集落内美化清掃が14箇所、概ね目標が達成できた。作業期間内に作業員全員を対象に安全講習や作業についての問題点について、話し合いを持ち作業員へ自覚してもらったことが作業効率アップにつながった。それにより、観光客や地域住民から安心安全に観光スポットを散策でき、また、本村に自生しているカワラナデシコや野ボタンなどが増え、身近に鑑賞できるようになった。								

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・夏場の草木の繁茂期に除草作業が行き届かない状況があり住民等から苦情がある。また夏場の猛暑時期に作業員の休みが多い。 ・天候不良により作業の中止が多く作業日数の大幅な減少が生じた。 ・3月の年度末については事務処理のため半月ほど作業日中止の日が生じている。 ・現在の雇用形態は賃金作業員個人と役場間で賃金契約をしており、業者委託等の雇用形態ではないため、出勤状況や作業範囲の管理をしなければいけないため、定期的に委託化の可能性を検討することが必要である。	・夏場の草木の繁茂期の対策として、作業員の配置を見直す必要がある。 ・夏場の猛暑時には猛暑の時間帯に休憩を入れる他、定期的に話し合いを持つ等の取り組むことで、作業に対する意欲が増すよう指導助言を行うなどをして、作業効率をアップしたい。 ・3月の年度末の作業については今後当初計画を見直し、あらかじめ事務処理日を考慮し、作業日を減らした年間の計画を立てることを検討する。 ・雇用形態については業者委託にすると、積算の結果においては、大幅なコスト増が見込まれるため、現在の雇用形態で今後も取り組んでいきたい。
今後の取り組み方針		
作業員の採用や雇用形態について、一年間継続して就業できるよう指導していく。 作業の効率をアップさせるため、効率が上がるよう作業スケジュールの作成、作業箇所や作業員の振り分けについても、検討していく。 また、猛暑時には休憩を取り入れることや、定期的に作業員への作業機械の操作方法の講習会や会議を実施することで、効率の上がる作業環境作りに努めたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43,052</td><td>43,052</td><td>34,441</td><td>8,611</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	43,052	43,052	34,441	8,611	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
43,052	43,052	34,441	8,611	0										
渡名喜村 43,052千円 賃金 39,797千円 環境保全・美化推進事業 31名 需用費 2,254千円 作業用消耗品費 作業用燃料費 役務費 601千円 沖縄大同火災海上保険 590千円 （株）久米商船 11千円 備品購入 400千円 （株）南九州沖縄物産 草刈機購入														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・作業員の採用においては、公募により採用しており、妥当であった。 ・予算規模については、補助基準額内であり適正であった。 ・事業費について、費用・使徒ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡名喜村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	離島苦解消移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9	
事業内容	離島観光の利便性及び離島住民の交通基盤の向上を図るため、フェリーが悪天候などにより欠航し沖縄本島と本村間におけるチャーターヘリを利用した場合、事業所に対し利用者の運賃の一部を補助する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000	2,000	2,000		
		(b) 予算現額	1,240	1,560	760		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 760	▲ 440	▲ 1,240		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計 (b+d)	1,240	1,560	760		
	B. 執行済額		1,240	1,560	760		
	うち交付金充当額		992	1,248	608		
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.00%		
予算の状況の説明		増減額については、フェリー欠航回数の減少とヘリチャーターを利用する離島が1島増えたことから、他離島の利用客との調整によるフライト回数の減少のためであり、これに伴い補正により1,240千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	悪天候における船舶航路が欠航となった場合のチャーターヘリ利用者に対する運賃の支援	目標	(運賃支援 50回)	(運賃支援 50回)	(運賃支援 50回)	()	
		実績	運賃支援 31回	運賃支援 39回	運賃支援 19回		
達成状況説明	本村では沖縄本島での交通手段として、1日1便のフェリー運航に頼っている。しかし悪天候における船舶航路が欠航となった場合、島民の交通手段は閉ざされてしまう。このような離島での交通機関の問題を解消するため、チャーターヘリを利用したサービスを行っており、フェリー欠航時においても、観光を含め島民が安心して沖縄本島の従来がよりスムーズになった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	渡名喜村ヘリポート～那覇空港フライト回数 50回	目標	()	(50回)	(50回)	(50回)	()
		実績		31回	39回	19回	
	進捗状況説明	想定通りフェリー欠航時、渡名喜ヘリポート～那覇空港のフライトを実施した。目標より31回少ない理由としては、フェリーの欠航回数の減少とヘリの運航上1機のための運航であることから、周辺離島でのヘリチャーターを利用する離島が1島増加したことにより本村から那覇までの運航回数に限りがあったため。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・利用者からはフェリー欠航時において、本村では代替えの交通機関がなく島での滞在を余儀なくされ、経済的・精神的な負担となっていたがヘリチャーターの運航によりこれらの負担が軽減され大変助かっているとの声が多くあった。また、当該事業により島民・島外のフェリー利用者は増加傾向にある。 ・フェリー欠航時の利用者からの運航システムや搭乗希望者のキャンセル待ち状況の問合せが多くあることから、利用者への情報提供等の周知の徹底を図る必要がある。 ・これまでフェリーの欠航時において、周辺離島においてヘリチャーターの利用がされていたことにより、ヘリの提供が不可能な場合があった。	・より一層の効率的な運用を図るため、利用者へのヘリチャーターの料金システムや予約方法等の運航システムをfacebook等のWebを活用した情報提供や村広報誌、その他チラシや村内放送等による周知に努める。 ・安全運航を確保しつつ、欠航時のヘリ運航回数を増加できるよう事業者及び周辺離島との調整を行う。
今後の取り組み方針		
今後もヘリ運航事業者への安全管理の徹底やヘリチャーター利用者への運航情報の周知を図りながら、フライト回数の増加に繋げ離島住民や観光などで訪れた人達への利便性の充実につとめる。 また、周辺離島においてもヘリチャーターを利用していることからフェリー欠航時に本村へのヘリ運航の確保が100%となっていない状況であるため、昨年までヘリ1機のみでの運航対応であったが今年度から2機体制で運航を行う等、フェリー欠航時のヘリ確保の向上につとめる。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>760</td><td>760</td><td>608</td><td>152</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	760	760	608	152	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
760	760	608	152	0										
渡名喜村 760千円 補助金 760千円 アイラス航空株式会社 760千円 フライト料の半額補助														
資金の流 れ、費 用・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○		支出先の選定方法は妥当か。	・県内で民間ヘリ輸送を行っている業者はアイラス航空のみであり、業者選定・補助先については適正であったと考える。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・フライト料の半額を補助金交付する事としており、過去の欠航回数を吟味し適正に補助額を決定している。											
		受益者との負担関係は妥当であるか。	・予算規模については、補助基準額の範囲内であり適正であった。											
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・受益者負担、費用、使途については補助金交付規則に沿って適正に執行される。											

市町村名	渡名喜村							
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	地域行事継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)			
事業内容	地域の伝統文化の継承と観光地としての評価される魅力ある地域づくりに向け「海神祭」や「水上運動会」等で使用するハーリー船を新造する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,430					
		(b)予算現額	6,430					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	—					
		A.計(b+d)	6,430					
	B.執行済額		6,430					
	うち交付金充当額		5,144					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		見積もりなどを参考に予算を作成し、予定していた予算の範囲内で執行できたことから、予算額、執行状況ともに適切であった。また、漁業者から要望があったサバニの大きさや型を踏まえ、予算内で要望通り完成できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)			達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	ハーリー船新造	目標	(3隻新造の実施)	()	()	()	()	
		実績	3隻新造の完了					
達成状況説明	請け負った業者による資材の調達等もスムーズに進んだことから、予定していた工期内で引渡しを受けることができ、活動目標を達成することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)			基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	ハーリー船の新造などによる地域文化の継承に向けた体制の構築	目標	()	(構築)	()	()	()	
		実績		構築完了				
	進捗状況説明	予定どおりハーリー船を3隻新造した。これにより、これまで老朽化等により競技が実施できない状況などを改善することができ、伝統行事の継承のために必要な体制の構築を完了させることができるようになった。また、今後は児童生徒や、地域の人、観光客等に幅広く活用いただけるような取組を検討することで、地域文化の継承・普及に向けて取り組むことも可能な体制が構築された。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・本村においては、既存のハーリー船が老朽化しており、毎年修繕・補修を行わなければ競技を実施できなかったことから、行事の存続にも影響を与えかねない状況にあった。 ・本事業によりハーリー船を活用した海神祭の文化を次世代へ継承していくことが可能となった。 ・今後の課題として、伝統文化の継承にとどまらず、渡名喜島の魅力を引き出すべく、海神祭をはじめとした伝統行事や渡名喜村独自の行事等を観光資源としてアピールし、観光客の増や、地域の活性化に繋げていく必要がある。	・現時点において海神祭を継続的に実施することができるようになったことから、単年度の事業目的についてはおおむね達成している。 ・今後は海神祭以外の島内で実施されるイベントでハーリー船を使用していくなど、将来を担う児童生徒のほか、地域住民や観光客等もハーリーを体験できる機会を創出することで、渡名喜村の観光活性化および伝統文化の継承に繋がるものと考えられる。
今後の取り組み方針		
・渡名喜村においては「海神祭」として爬龍船競争が盛大に行われていることから、地域が誇れる伝統行事として次世代へ継承していくとともに、観光資源としてイベントやハーリー船の魅力をPRしていく、地域の活性化に繋げていく。 ・「海神祭」だけでなく、伝統行事である「水上運動会」等のその他の行事における爬龍船競争や、日常的、定期的な乗船体験メニューの開発などに取り組める体制を構築していくことで、伝統文化へふれあえる機会を創出し、ハーリー船を活用した島の魅力向上に向けて今後取り組んでいく。 ・ハーリー船を活用するイベントや体験メニューなどの情報について、村の広報媒体を活用し島内外へ発信することとし、島への訪問を計画している観光客に対し、気軽に島の文化的行事に触れることができる点をアピールできるよう努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,430</td><td>6,430</td><td>5,144</td><td>1,286</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,430	6,430	5,144	1,286	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,430	6,430	5,144	1,286	0										
<pre> graph LR A[渡名喜村 6,430千円] --> B[新造船製作委託 6,430千円] B --> C[ハーリー船新造 3隻] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・他に委託先がないほど特殊な技術者が必要であるので、支出先の選考方法は随意契約であるが妥当であった。 ・予算規模については、補助基準額内であり適正であった。 ・事業費について、費用・使徒ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡名喜村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	児童・生徒の教育活動助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実	
事業内容	離島のハンディーを克服するため、児童・生徒の村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習への派遣費用等を助成する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,284	1,284			
		(b) 予算現額	313	1,284			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 971	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	313	1,284			
	B. 執行済額		313	422			
	うち交付金充当額		250	336			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	32.9%			
予算の状況の説明		本村は離島村であることから船便が唯一の交通手段であり、季節風や台風等により海上が時化になり、フェリーが欠航した場合には、島外での教育活動が出来ない。不用額が862千円についてはこのような理由から児童生徒の当該教育活動への参加回数が減った事によるものであり(派遣予定人数当初137人)、予算の計上などについては適切な予算規模であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	小中学生の教育諸活動及び交流学習に係る補助の実施	目 標	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数137人	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数153人	()	()	
		実 績	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数60人	交通費・宿泊費の助成・参加延べ人数106人			
達成状況説明	離島のハンディーを克服するために、児童・生徒の教育活動(スポーツ・文化)及び交流学習へ、小学校6回、延べ人数57人、中学校8回、延べ人数49人、合計延べ人数106人 の児童・生徒の派遣を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	スポーツ大会参加	目 標	()	(小26名中56名)	(小26名中56名)	()	()
		実 績		小31名中14名	小18名中30名		
	文化発表会等	目 標	()	(小16名中17名)	(小16名中17名)	()	()
		実 績		小2名中8名	小21名中17名		
	交流学習	目 標	()	(小13名中9名)	(小13名中9名)	()	()
		実 績		小9名中2名	小18名中2名		
	進捗状況説明	・参加状況については前年度より良くなっており、生徒数も少しではあるが増えているところ。 ・宿泊所については、出来るだけ格安なところを選択し、団体でまとまった行動ができる場所を選定する等により、経費の節減に努めるようにしている。 ・大会への参加により村内の児童・生徒等が積極的に村外の児童・生徒等と学術、文化、スポーツの分野で交流・協力することにより、児童生徒の精神的な勇躍を図ることができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・事業実施年度によって異なるが、台風や季節風により海上が時化になりやすい時期の大会については不参加が予測されることから、参加する大会等の検討についておこなう必要があるとおもわれるが、スポーツ大会等については、開催時期が決まっているため厳しい状況にある。島外の児童生徒などとの交流により見聞を広めていくことを目的とする観点を踏まえると、今後は、独自の交流事業の開発が必要である。 ・事業の推進については、決まっている大会に併せて交流事業を実施したことや、小中学校での共同での事業の推進を図ったことで、事業がスムーズに行われたと思われる。	・離島であるため、事業の100%の実施は難しいことから、天候等に左右されないような多くの大会への参加や他校との交流を多く取り入れることが必要である。 ・基本的には、全員が参加できる派遣事業においては全員で参加しているが、個人戦や代表での参加の場合においても、少数の参加だけでなく、関連する児童の全体的な参加が出来ないものか等について検討する。 ・県外などへの派遣についても事業の対象とすることについて計画することも考慮すべきである。

今後の取り組み方針
・天候等に左右されない時期や季節などを検討し、児童・生徒の技術の向上や精神面における成長に寄与するような新しい事業を展開し、計画通りに事業を執行する。 ・県外開催においてのスポーツ大会等の村外活動への支援の検討を行っていく必要がある。 ・行政、学校、地域、PTAの連携による事業計画や事業の推進計画を進めていく必要がある。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
422	422	336	86	0

渡名喜村

→

補助金 422千円

→

児童・生徒・指導者 422千円

→

村外活動に係る船賃及び宿泊費

資金の流 使途の 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は要綱に従って選定されており、適正であった。 ・予算額については、不用額が出ているが、天候等の影響による事業中止を考慮する等のやむを得ない理由によるものであり、適正な規模であった。 ・助成金等の使途については、要綱に従った経費であるか等について書類等により確認し、適正であることを確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡名喜村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	パークゴルフ場整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 第3章-3-(12)-ア 観光リゾート産業の振興		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成25～27年度		沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客の誘客促進・受入の強化と地域住民の体力増進及び高齢者の生きがいの場の創設のため、新たなスポーツレクリエーション施設としてパークゴルフ場を整備する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	304,144	0		33,608	
		(b) 予算現額	311,724	0		32,469	
		(c) 増減額(b-a)	7,580	0		▲ 1,139	
		(d) 繰越額	-	295,444		-	
	A. 計(b+d)		311,724	295,444		32,469	
	B. 執行済額		16,275	295,444		32,469	
	うち交付金充当額		13,020	230,295		25,816	
	次年度繰越額		295,444	0		0	
	執行率(%) (B/A)		5.2%	100.0%		100.0%	
予算の状況の説明		当初補助金で実施を予定していたリーフレットやスコアカードの印刷製本が遅れ、単費での実施に変更したが、その他は計画通り執行された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度
	消耗品等購入	目 標	(消耗品等購入)	()	()	()	()
		実 績	消耗品等購入完了				
	芝管理委託業務委託	目 標	(業務委託実施)	()	()	()	()
		実 績	完了				
	備品購入(競技用備品、管理事務所備品、施設用備品、芝等維持管理用機器)	目 標	(備品購入実施)	()	()	()	()
		実 績	備品購入完了				
	芝管理賃金(芝管理者研修業務)	目 標	(2名)	()	()	()	()
		実 績	2名				
	軽トラック購入	目 標	(1台)	()	()	()	()
		実 績	1台				
	散水管布設工事	目 標	(布設工事実施)	()	()	()	()
		実 績	布設工事完了				
達成状況説明	芝や樹木の育成が順調に行われ、当初目標として掲げていた備品の購入等も予定通り実施できた。芝の管理者育成についても、2名の雇用を行い、OJTを継続して実施できている。運営に向けての条例などの整備も完了し、年度内において、施設の供用に向けた体制整備を完了することができた						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	パークゴルフ場の運営体制の構築完了	目 標	()	(構築完了)	()	()	()
		実 績		構築完了			
	進捗状況説明	オープンに向けて、芝の育成や管理条例等の整備を行ったほか、備品の購入、散水管敷設工事も年度内に完了したことから、パークゴルフ場の運営体制の構築を完了することができ、平成28年4月22日にオープンすることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本施設の完成を受けて、当初の方針どおり、観光客と地域住民の交流を図っていくことが可能となった。観光誘客や地域連携イベントの実施を検討し、地域活性化につなげる。 今後の事業実施にあたって、芝管理者の早急な育成を行い、人材の維持・確保に努める必要がある。	新たに採用した芝管理者の2名には、芝管理の技術を熟練させていくための方策を検討する必要がある。今後も芝管理の一部と芝管理者への研修を沖縄本島にある専門業者に委託し、専門的知識や技術の習得など、芝管理者の育成を行う。 また、施設を活用した観光誘客を促進することが必要であることから、観光客や地域住民などを参加対象とした交流イベントの実施や、地元観光関連業者と提携してのツアーによる島外からの誘客の促進を検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
今後は、施設の利用者の増加を図りつつ、地域住民同士や、観光客と地域住民とが交流可能なイベントの実施などを通して、本施設および本村をPRしていく方策を、地元観光関連業者などと検討していく。合わせて定期的に施設の運営状況や観光客の利用状況等を把握し、適切な施設の運営がなされているかを確認していき、必要があれば利活用促進のための方策を検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		32,469	32,469	25,816	6,653	0

渡名喜村
32,469
千円

賃金
2,087千円

需用費
713千円

委託料
11,340千円

工事請負費
4,147千円

備品購入費
14,182千円

管理者研修業務 2名
2,087千円

消耗品費
713千円

夢芝プランニング(株)
6,588千円

株協和建設コンサル
tant

株川平土木
4,147千円

南風原工務店
626千円

株沖縄スポーツ
824千円

琉球ダイハツ(株)
824千円

ヤンマー沖縄(株)
10,044千円

株沖縄三共事務機
1,325千円

株加島事務機
539千円

ニッソ(株)
48千円

株沖縄スポーツ
129千円

株川平土木
100千円

糸満事務用品社
436千円

草刈刃等

シューズ

砂購入

ホール等

芝管理委託業務

委員会運営委託
業務

散水管布設工
事

フキ用防風ネッ
ト購入

クラブ等購入

管理車両購入

芝管理用機械
等購入

管理事務所備
品購入

券売機購入

資金の用途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事業者においては、公募により採用しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、3社以上の見積もりを参考にした適正な設計により必要最小限の価格で予算措置をしており適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・事業費について、費用・使徒ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡名喜村						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	多目的活動施設機能強化整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ		
担当部課名	経済課	事業実施（予定）年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	多目的活動施設は、本村唯一の社会教育施設として、映画や講演会等各種イベントを年間を通して利用されている。近年のOA機器の発達に伴い、現在の音響機器では対応できないことが多々あり各種イベントの開催に支障をきたしていることから音響機器の機能強化を図る。また、照明機器が旧式のため、舞台やホールが薄暗くイベントの開催に支障がある。舞台の照明点灯時には、照明器具からの熱で出演者に負担をかけている。会場内も薄暗く観客が舞台に集中できるよう照明機器の機能強化を図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	(a) 当初予算額	4,939				
		(b) 予算現額	22,834				
		(c) 増減額 (b-a)	17,895				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	22,834				
	（「交付金」＋「市町村負担」ベース）	B. 執行済額	22,769				
		うち交付金充当額	18,120				
		次年度繰越額	0				
	執行率（％）(B/A)	99.7%					
	予算の状況の説明	17,895千円追加となったのは、当初、音響機器の改修のみであったものを照明機器の改修を新たに追加する必要があったためである。予定通り予算内で執行することができた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	音響設備機能強化実施	目標	（ 取替工事の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	取替工事の実施				
	照明機器の機能強化実施	目標	（ 取替工事の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	取替工事の実施				
達成状況説明	これまで音響機器の出力・音質の問題で対応できずに開催に影響を及ぼしていた音響設備の改修を実施し、クリアな音質でいろいろなイベントに対応できるようになった。また、同じく明るさや熱問題のためイベントに影響を及ぼしていた旧式の照明機器も改修したことにより、舞台や会場内が明るくなり舞台に集中できるようになった。本事業により予定どおり設備の機能強化を実施することができた。これにより、当初の活動目標については達成されたと考えている。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
	音響設備機能強化完了	目標	（ ）	（ 取替工事の完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		取替工事の完了			
	照明機器の機能強化完了	目標	（ ）	（ 取替工事の完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		取替工事の完了			
	進捗状況説明	音響機器と照明機器の機能強化については、年度内に予定通り完了することができた。これにより、クリアな音質でいろいろなイベントに対応できるようになったほか、舞台や会場内が明るくなり、照明機器により高熱が発生することも減少したことから、出演者が舞台に集中できるようになるなど、イベントの実施において課題となっていた機能の不足している点について、改善することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設の機能強化が完了したことで、民謡や琉舞の上演、映画の上映等、地域住民等の文化継承・発表活動イベントや文化鑑賞イベント等の実施にあたっての環境が整備された。今後は本施設において、様々なイベントの誘致が可能となったことから、この点を踏まえ、施設の稼働率をこれまで以上に向上させるため、様々なイベントの誘致・実施について検討を重ねていく必要がある。	様々なイベントの誘致を行うべく、村内外の各種団体と協力していくほか、村外に対してもイベントの実施に向けて施設の機能等のPRを行う方法を検討するなど、さまざまな方策を考えていくことで、事業効果の最大限の発現に向けて取組んでいく必要がある。
今後の取り組み方針		
島内や島外の各種団体へ機能強化を図った施設をネット等を利用し発信し、民謡や流舞の上演、映画の上映等様々なイベントの誘致を図り、稼働率の向上を図り、住民の皆さんが満足して戴けるよう、取り組んで行きたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費		
			交付金充当額				
			22,769	22,769	18,120		
				4,649	0		

渡名喜村
22,769千円

→

工事請負費
22,769千円

→

㈱共和総業
5,057千円

音響設備改修工事

→

㈱共和総業
17,712千円

照明機器改修工事

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
			・委託及び工事業者においては、公募により採用しており、妥当であった。 ・予算規模については、3社以上の見積もりを参考にした適正な設計により必要最小限の価格で予算措置をしており適正であった。 ・事業費について、費用・使徒ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であったと考える。

市町村名	渡名喜村
------	------

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	観光振興整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入態勢の整備	
事業内容	Ⅲ-1-(1)						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,312				
		(b) 予算現額	7,312				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	7,312				
	B. 執行済額		7,072				
	うち交付金充当額		5,657				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		96.7%				
予算の状況の説明		設計額も3社見積りで決定しており、予算範囲内で契約し年度内に完了した。不用額が240千円でいるが入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	基本設計の実施	目標	(基本設計の実施)	()	()		
		実績	基本設計の実施				
達成状況説明	観光振興整備事業を実施する基礎となる基本設計を実施に向けて予定通り取り組むことができたことから、目標を達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	基本設計の実施		()	(基本設計の実施)	()	()	()
				基本設計の完了			
	進捗状況説明	観光振興整備事業を実施する基礎となる基本設計を実施し、予定通り完了できたことから、目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	先人たちが守り育んできた自然景観や昔ながらの集落景観は、他に類を見ない景観を形成し本村の観光目玉となっている。しかしながら、これまで整備した観光施設や観光スポット及び観光ルートのみでは、整備が不十分であることから、年々増えつつある観光客が安心・安全・快適に過ごせるよう早急に受入体制を整備することが必要である。	事業を実施することにより、不十分であった観光施設等が整備され、増えつつある観光客へ安心・安全・快適に島の自然を満喫してもらい島の魅力を島外へ発信していただき渡名喜ファンを増やすことで今後の観光振興等に寄与できるものと考えている。 28年度以降は、
今後の取り組み方針		
今後も引き続き沖縄振興特別推進交付金を活用し、今回完成した基本設計に基づき、各機関と事業調整を行い観光施設等の整備等を実施し、観光地アクセスの安全性の確保および利便性を高め、観光地としてのイメージアップを図り、観光客の増加につなげたい。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,020</td><td>7,020</td><td>5,616</td><td>1,404</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,020	7,020	5,616	1,404	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,020	7,020	5,616	1,404	0										
渡名喜村 7,020千円 → 委託料 7,020千円 → ㈱協和建設コンサルタント 7,020千円 調査測量														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定方法については、指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、3社以上の見積もりを参考にした適正な設計により必要最小限の価格で予算措置をしており適正であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・使徒ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												